

業績の概要

国内医薬品業界におきましては、後発品使用促進策の進展など医療費全体の抑制を目的とした諸施策が一層浸透するなか、国内外の企業間競争が一段と激化するなど、市場環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社は独創的な新薬開発を目指し、研究開発体制の一層の強化と主要製品を中心とした学術情報活動の充実を図るとともに、経営全般にわたり効率化に努めました結果、当第2四半期累計期間の業績は以下の様になりました。

売上高	637億7千8百万円 (対前年同期比 5.1%減)
営業利益	130億9千8百万円 (対前年同期比 41.5%減)
経常利益	147億6千9百万円 (対前年同期比 38.7%減)
四半期純利益	93億2千5百万円 (対前年同期比 41.4%減)

●売上高

前年同期比34億円(5.1%)減の637億円

主要製品の状況ですが、昨年12月に新発売しました新しい作用機序の2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は、発売前から糖尿病の専門医をはじめ、多くの先生方から注目を集めていたこともあり、発売後は、医療機関での採用が順調に進み、積極的な情報提供活動による新規処方拡大に伴い、本剤への評価は着実に高まっています。

また、同時期に新発売しました抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」も、「グラクティブ錠」と同様、発売前から医療現場の期待が大きかったことに加え、日本癌治療学会が本年5月に策定した“制吐薬適正使用ガイドライン”で、本剤の使用が推奨されたこともあり、対象市場への普及・浸透が順調に進んでいます。

なお、「グラクティブ錠」の売上高は34億円、「イメンドカプセル」の売上高は20億円と、それぞれ年度計画達成に向けて

順調に進捗しています。

さらに、過活動膀胱治療剤「ステープラ錠」や、昨年4月に新発売しました骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」の売上高も堅調に推移しています。

一方、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「オノンカプセル」、糖尿病性神経障害治療剤「キネダック錠」などは、引き続き潜在市場の開拓に努めましたが、薬価引き下げの影響や後発品普及促進策の影響もあり、それぞれ売上高が減少しました。

以上の結果、売上高は前年同期比34億円(5.1%)減の637億円となりました。

●営業利益

前年同期比92億円(41.5%)減の130億円

売上高が前年同期比34億円減少し、売上原価が製品別の売上構成の変化^(※)から前年同期比12億円増加しました。さらに、ライセンス費用を中心に研究開発費が前年同期に対して47億円(25.6%)増加し235億円となったことで、販売費及び一般管

理費が前年同期比46億円(13.4%)増の394億円となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比92億円(41.5%)減の130億円となりました。

なお、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、前年同期比でほぼ横ばいの159億円となりました。

(※)原価率の高い新製品(導入品)の売上高が増加し、原価率の低い既存の自社主力品の売上高が減少傾向にあります。

●経常利益

前年同期比93億円(38.7%)減の147億円

売上高が減少し、売上原価や販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は前年同期比92億円減少し130億円となりましたが、受取利息や配当金収入などの計上で営業外収支が前年同期比でほぼ横ばいの16億円となったことから、経常利益は93億円(38.7%)減の147億円となりました。

●四半期純利益

前年同期比65億円(41.4%)減の93億円

財政状態

●資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ101億円減少して、4,230億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ106億円増加して、1,924億円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ208億円減少して、2,305億円となりました。これは投資有価証券が237億円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ24億円減少して、246億円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ76億円減少して、3,984億円となりました。これは、第2四半期純利益の計上93億円がありましたが、一方で、剰余金の配当金の支払97億円、その他有価証券評価差額金の減少72億円があったことなどによります。

●連結キャッシュ・フローの状況

営業活動により獲得したキャッシュ・フ

ローは、151億円の収入(前年同期比20億円収入の減少)となりました。主な内訳としては、税金等調整前四半期純利益146億円などのキャッシュの増加要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、43億円の収入(前年同期比97億円収入の減少)となりました。主な内訳としては、有形固定資産の取得による支出5億円があった一方で、有価証券及び投資有価証券の取得と償還で差し引き50億円の収入がありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、97億円の支出(前年同期比3百万円支出の増加)となりました。これは、配当金の支払によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ97億円増加して、818億円となりました。

(資産、負債及び純資産の状況)

	当第2四半期末 平成22年9月30日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在	増 減
総資産	4,230億3千8百万円	4,332億2千6百万円	△101億8千7百万円
純資産	3,984億1千万円	4,061億9百万円	△76億9千8百万円
自己資本比率	93.3%	92.9%	—
1株当たり純資産	3,629.81円	3,701.49円	△71.68円

(連結キャッシュ・フローの状況)

	当第2四半期累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	前第2四半期累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	増 減
現金及び現金同等物期首残高	720億9千7百万円	534億6千万円	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	151億9千1百万円	172億7千4百万円	△20億8千3百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	43億5千8百万円	141億5千2百万円	△97億9千4百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97億8千9百万円	△97億8千6百万円	△3百万円
換算差額	△4千1百万円	6千4百万円	△1億5百万円
増減	97億1千9百万円	217億5百万円	—
現金及び現金同等物期末残高	818億1千7百万円	751億6千6百万円	—

通期の見通し

●売上高

前期比69億円(5.1%)減の1,290億円

2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」をはじめ、過活動膀胱治療剤「ステーブラ錠」、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」といった新製品の市場育成による売上拡大をさらに進めます。また、既存の主力製品についても引き続き積極的な情報提供活動に努めます。しかしながら、本年4月に行われた薬価引き下げの影響に加え、後発品普及促進策の浸透によるマイナス影響が今後どの程度拡

売上高	1,290億円 (対前期比 5.1%減)
営業利益	267億円 (対前期比 33.0%減)
経常利益	287億円 (対前期比 32.8%減)
当期純利益	185億円 (対前期比 33.6%減)

大するか不透明ですので、期初の予想を据え置き、売上高は前期比69億円減の1,290億円と予想しています。

主な製品の通期の売上高予想は、下記のとおりです。

(単位：億円)

製品名	23年3月期 売上高 通期予想	対前期比
オパルモン錠	425	△4.7%
オノンカプセル	165	△34.3%
キネダック錠	130	△19.2%
フオイバン錠	105	△17.3%
オノンドライシロップ	80	△12.2%
ステーブラ錠	65	42.5%
注射用エラスポール	55	6.1%
注射用オノアクト	35	11.4%

平成21年度に発売した新製品 (単位：億円)

製品名	23年3月期 売上高 通期予想	発売年月
グラクティブ錠	75	平成21年12月
イメンドカプセル	45	平成21年12月
リカルボン錠	20	平成21年 4月

(注)売上高は出荷価格ベースで表示しています。

●営業利益

前期比131億円(33.0%)減の267億円

売上高を前期比69億円(5.1%)減の1,290億円、売上原価を前期比29億円(14.2%)増の238億円、販売費及び一般管理費を前期比31億円(4.2%)増の785億円と見込み、営業利益は前期比131億円(33.0%)減の267億円と予想しています。

なお、売上高は69億円減少する一方で売上原価が29億円増加するのは、製品別の売上構成の変化^(※)によるものです。また、販売費及び一般管理費のうちで研究開発費につきましては、ライセンス費用の増加などで、前期比60億円(15.2%)増の457億円となる見込みです。一方で、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、退職給付債務の数理計算上の差異にかかる償却負担が無くなることなどから、前期比28億円(8.0%)減の327億円になる見込みです。

(※)原価率の高い新製品(導入品)の売上高が増加し、原価率の低い既存の自社主力品の売上高が減少傾向にあります。

●経常利益

前期比140億円(32.8%)減の287億円

低金利の長期化による金融収支の悪化などで営業外収支が前期比8億円減少すると見込み、経常利益は前期比140億円(32.8%)減の287億円と予想しています。

●当期純利益

前期比93億円(33.6%)減の185億円

**中間配当金について**

株主の皆さまへの当期の中間配当金につきましては、当社普通株式1株につき、90円とさせていただきます。

連結決算報告（財務諸表）

連結貸借対照表の要旨

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期	当第2四半期

平成22年3月31日現在 平成22年9月30日現在

(資産の部)		
流動資産	181,841	192,457
現金・預金	15,387	16,083
受取手形・売掛金	31,624	30,290
有価証券	97,830	116,113
たな卸資産	14,626	14,163
繰延税金資産	13,753	13,749
その他	8,632	2,068
貸倒引当金	△ 12	△ 10
固定資産	251,384	230,581
有形固定資産	50,009	49,117
建物・構築物	23,631	22,917
土地	22,539	22,553
その他	3,839	3,646
無形固定資産	866	908
投資その他の資産	200,508	180,555
投資有価証券	190,628	166,872
繰延税金資産	3,979	5,955
その他	5,909	7,728
貸倒引当金	△ 8	△ 1
資産合計	433,226	423,038

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期	当第2四半期

平成22年3月31日現在 平成22年9月30日現在

(負債及び純資産の部)		
流動負債	23,442	21,041
支払手形・買掛金	2,344	3,777
短期借入金	1	1
未払法人税等	8,420	5,060
引当金	5,494	5,218
その他	7,181	6,982
固定負債	3,674	3,586
長期借入金	14	13
長期未払金	83	83
引当金	599	473
その他	2,978	3,016
負債合計	27,117	24,628
株主資本	401,868	401,417
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,079	17,079
利益剰余金	430,870	430,424
自己株式	△ 63,439	△ 63,445
評価・換算差額等	610	△ 6,737
その他有価証券評価差額金	9,706	2,416
土地再評価差額金	△ 8,922	△ 8,937
為替換算調整勘定	△ 173	△ 216
少数株主持分	3,629	3,730
純資産合計	406,109	398,410
負債及び純資産合計	433,226	423,038

連結損益計算書の要旨 (単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間
		自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日
売上高		67,184	63,778
売上原価		9,962	11,182
売上総利益		57,221	52,595
販売費及び一般管理費 (研究開発費)		34,838 (18,717)	39,496 (23,508)
営業利益		22,382	13,098
営業外収益		1,883	1,951
営業外費用		158	280
経常利益		24,107	14,769
特別利益		238	—
特別損失		31	165
税金等調整前四半期純利益		24,313	14,603
法人税等		8,264	5,170
少数株主損益調整前四半期純利益		16,049	9,433
少数株主利益		135	108
四半期純利益		15,914	9,325

前第2四半期
累計期間

146円35銭

当第2四半期
累計期間

85円76銭

(注) 1株当たり四半期純利益

連結株主資本等変動計算書の要旨 (単位：百万円)

科目	期別	前期	変動額	当第2四半期
		平成22年3月31日現在		平成22年9月30日現在
資本金		17,358	—	17,358
資本剰余金		17,079	—	17,079
利益剰余金(注)		430,870	△ 445	430,424
自己株式		△ 63,439	△ 6	△ 63,445
株主資本合計		401,868	△ 451	401,417
その他有価証券評価差額金		9,706	△ 7,290	2,416
土地再評価差額金		△ 8,922	△ 15	△ 8,937
為替換算調整勘定		△ 173	△ 42	△ 216
評価・換算差額等合計		610	△ 7,347	△ 6,737
少数株主持分		3,629	101	3,730
純資産合計		406,109	△ 7,698	398,410

(注) 利益剰余金の変動要因

四半期純利益 9,325百万円

剰余金の配当 △9,786百万円

土地再評価差額金取崩額 15百万円